

令和7年度秋田大学大学院医学系研究科
医科学専攻（修士課程）入学試験
（2回目）

小論文

令和6年12月19日（木）（12：40～14：10）

試験終了後、解答用紙のみを提出してください。

監督者の指示があるまで問題を開かないでください。

問題用紙	4枚
解答用紙	2枚

I 以下の文章を読んで問いに答えなさい。

(本文省略)

(本文省略)

(本文省略)

＜出典：松本俊彦著、『身近な薬物のはなし 第9回 タバコ(1) 2大陸をつないだ異教徒の神器』，岩波書店のWEBマガジン「たねをまく」，2024年10月28日，より抜粋，一部改変）

問 1 下線部(1)の理由につき、300 字以内で述べなさい。

問 2 「報酬の即時性」が薬物への依存や執着を高めてしまう理由として、下線部(2)に記載すべき内容を 100 字以内で述べなさい。

問 3 本文の内容に基づき、あなたが考えるもっとも適切な禁煙の方法につき、200 字以内で述べなさい。

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

医科学専攻（修士課程）「小論文」解答用紙

2/2

I

問 2 「報酬の即時性」が薬物への依存や執着を高めてしまう理由として、
下線部(2) に記載すべき内容を 100 字以内で述べなさい。

(横書き)

20×5

(100 字)

問 3 本文の内容に基づき、あなたが考えるもっとも適切な禁煙の方法につ
つき、200 字以内で述べなさい。

(横書き)

20×10

(200 字)

問1 下線部(1)の理由につき、300字以内で述べなさい。

解答例：タバコ煙タール中にはニトロソアミンなどに代表される多数の発癌物質が含まれ、それらが人体での代謝活性化を経て遺伝子DNAに結合し、DNA付加体を形成し、点突然変異につながる。こうした変異はDNA修復作用が機能すれば修復されるものの、修復が不十分であると遺伝子異常となり、結果、細胞の癌化へとつながる。また、文中に記載の通りニコチンは血管収縮作用を有し、これが心臓冠動脈で強くおこると狭心症、心筋梗塞の原因となり、脳動脈で強くおこると脳卒中となる。また、血管収縮は高血圧の原因ともなり、高血圧がながく続くと動脈硬化の原因なる。

(261文字。癌と循環器疾患でタバコの有害作用が異なることがまず記載されている必要があり、そのうえで要旨が正しければ加点する)

配点：30点。

問2 「報酬の即時性」が薬物への依存や執着を高めてしまう理由として、下線部(2)に記載すべき内容を100字以内で述べなさい。

解答例：摂取後すぐに薬理効果を実感できるので、使用者の意識に、摂取行為と効果との連関が強く印象づけられ、そのことによって、特定の薬物への依存性が形成されるため。

(76文字。原文にもとづき、解答例を作成した。大意が記載されていれば加点する)

配点：30点。

問3 本文の内容に基づき、あなたが考えるもっとも適切な禁煙の方法につき、200字以内で述べなさい。

解答例：喫煙による癌や循環器疾患発症の危険性をまず理解し、また、受動喫煙の害を理解することで禁煙へのモチベーションを形成する。同時に、報酬の即時性など、喫煙への依存が形成されるメカニズムを解説し、喫煙行動の根拠を理解する。そのうえで、ニコチンパッチなどの導入でニコチンをコントロールしつつ適量を採取し、禁煙へと導く。

(154文字。喫煙の有害性および依存性への理解を促すことと、具体的な方策(ニコチンパッチなど)が記載されていれば可とする)

配点：40点。